

間取り診断レポート

●●●● 様

詳細なデメリットや改善案はチェック・部分修正図に記載してあります。
チェック・部分修正図と併せてご確認ください。

■日当たり

南 面

南に面して主要な窓を配置でき、敷地も広く南側(庭)にも十分な屋外スペースが確保できており、日当りは良好で問題はありません。

また、高度の高い夏の日差しが軒の出や下屋により遮ることができ、理にかなっている計画です。

東 面

リビング(吹き抜け窓含む)と寝室は東面に窓があり、朝日が良く入り気持ちの良い朝を感じられると思います。

西 面

西は西日となるため、夏は日差しの差し込みに要注意です。西面は大きな窓を配置していないため、大きな問題はありませんが、スタディコーナーの窓の高さ(⇒⑫)は検討ください。

また、子供部屋を分割した場合の北側の部屋は西面にしか窓がないため、南側の部屋との快適性に差がありますのでご注意ください。

その他

日当たりとしては、階段には直接、外部に面する窓がないため、暗く感じるかと思います。そのため、階段北側の 2 階ホールの窓は階段の正面に移動させた方が(北側ではありますが)多少は採光にプラスとなるかと思われます。(⇒⑱)

■風通し

各所に適度に窓が配置されており、基本的には風通しは良いと思われます。

WIC のような収納部屋にもできる限り窓を設け、湿気や臭気がこもらないようにされてはと思われます。(⇒④⑮)

(24 時間機械換気はありますが、能力が微々たるもののため、自然換気が有効です。)

■動線

家事動線に配慮されたプランであり、キッチン～脱衣や洗面が近く、理にかなっていると思われます。

(洗濯物を干すウッドデッキも、トイレの位置を変更したことから、南へ出たことから日に当たりやすい場所となっています。)

ファミリークローゼットや洗面が玄関から遠いため、生活動線としてどうかとありますが、東西に長いプランとなる場合は、玄関近くにファミリークローゼットや洗面を持ってくると、この敷地形状ではキッチンや風呂の位置を適切に収めることが困難となります。

■収納量

収納量はウォークインタイプが玄関、洗面横、2階と複数あり、容量としては問題ありませんが、ウォークインタイプは中に通路が必要なため、「思ったより入らない」というケースがあります。(⇒③)

収納ケースを入れるならケースの奥行、収納家具の奥行、可動棚などの奥行を考えて有効にスペースを使うように検討して頂きたいと思います。

(一般的には通路は 50～60cm、ハンガーの肩幅も 50～60cm と考えます。)

また、リビング～ダイニング周りに小物の収納が少なそうですので、スタディコーナーの下部、和室小上がりの段差などをちょっとした収納に利用されても良いかと思います。(⇒⑬)

■主要なデメリット

吹き抜けの冷暖房

個別のエアコンの場合、吹き抜けを設けることにより、暖気が吹き抜けから2階へ逃げてしまい、冬の暖房は非効率となります。また、LDKが暖まるまでにも時間がかかりますので、床暖房を設置することも検討されてはと思います。(⇒⑩)

キッチンの日当たりと通風

キッチンが外部に面さないことから少し暗く感じられることや、窓の自然換気での風が直接通らないことから、(パントリー～コンロ付近は特に)**臭気がこもる可能性**があります。(⇒②)

スタディコーナーの位置

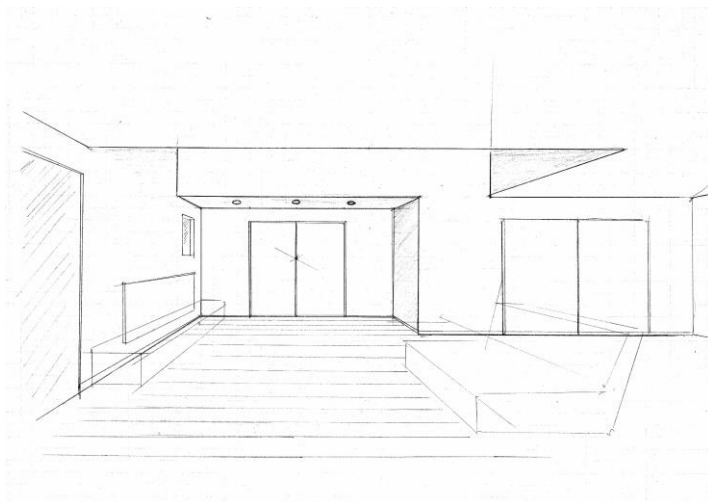
スタディコーナーの配置が少々中途半端な位置となっています。場所が悪い訳ではありませんが、ダイニングの椅子〜スタディコーナーの椅子が近く、通路が狭くなっています。(⇒⑪)

スタディコーナーに椅子が二脚必要であれば、ダイニングスペースとスタディコーナーの距離を開ける改善案を検討されてはと思います。(⇒修正案あり)

■気になるところについて

・吹き抜けの開放感

吹き抜けの形については奥行が 2 グリッド(有効 1.7m 程)ありますので、さほど気になさることはありませんが、開放感としては外壁面に沿って吹き抜ける長さ(奥行)が長い方が大きく感じるかと思います。



参考パース

(個人的な感覚になりますが)

ただし、南面から 1 グリッドセットバックして横長の吹き抜けがあると、立体感が出ますので、単純な吹き抜けよりもおもしろさがあると思います。

(リビング南面の窓際の天井にダウンライトも映えると思います。)

吹き抜けを**整形(正方形)にした案**を記載しましたので、ご確認ください。この場合、吹き抜けの形というよりも、布団干しスペースが日当たりになることがメリットとなります。

また、整形の吹き抜けとすると、奥にあるキッチンの明るさに少し影響してしまうデメリットは生じます。

※ちなみに、吹き抜けの高窓からの採光はかなり明るいため、眩しさを感じることもありますので、ロールスクリーンなどの日差しの遮蔽を検討された方が良いでしょうと思います。

・1階トイレの位置について

トイレの位置は一般的に玄関の近くか洗面の近くとなることが多いですね。

家相を気にしなければ玄関近くで問題は特に無い(前の廊下は余分なスペースですが)と思われますが、移動するのであれば、添付頂いたラフ図のように洗面の隣が適していると思われます。

この位置であれば、LDKからの利用がしやすく、かつ生活スペースに直接面していないことから適した配置といえます。

気になることは、2階にトイレがないため、(お考えの上とは思いますが)就寝後にトイレに行くのが遠いというデメリットがあります。(⇒⑳)

また、ご家族が増えた際に「トイレ待ち」ということも考えられます。

※トイレも将来的に必要となった際に設置できますので、現段階で大きなデメリットということではありませんが、2階に余裕のスペースも少ないため、少々気になっております。

トイレを移動した後の玄関北側はラフ図のように下屋を回し、自転車置き場などに利用することは良い案と思いますが、当初と外観(道路からの正面)が少し変わりますので、工務店から外観図をもらい、ご確認されてはと思います。(さほど気にはならないかと思います。)

※玄関付近が凸の形となるため、玄関・ホール・収納の形を変えて(出っ張りを少し抑えて横に広げる)配置し直すことも考えても良いかもしれません。(⇒参考修正案あり)

・1階 WIC までの距離について

玄関や2階から、1階の WIC が少し遠いことは否めません。

プラン 2 のように裏動線を作ることは不可能ではありませんが、それだけ通路のスペースが余分に必要となることや、洗面が玄関とほぼ対角にあることから、やむを得ない距離と思われます。

(玄関から WIC へ裏動線を設けても、洗面までの距離はさほど変わらない。)

・書斎を通っての小屋裏収納の位置。(小屋根裏は冬の布団などを収納するところを想定)

書斎を通らないと小屋裏収納へ行けないことはデメリットですので、改善案(WIC と書斎を入れ替える)を記載しました。(⇒修正案の 2 案)

ただし、小屋裏収納に入れる物は布団のような季節物が多いと思われるので、利用頻度が少ないため、他のデメリット改善を優先されて良いかと思われます。

■2 階の部分修正案 2 つの差

修正案を 2 通り考えましたが、大きな違いは、以下のお通りです。

・1 案(吹き抜け正方形)

- ・布団に日が当たりやすいが、キッチンに日が入りにくくなる。
- ・書斎が寒い。

・2 案(吹き抜け横長)

・布団に直接日が当たらない。キッチンには横長な吹き抜けからの採光が届きやすい(特に午前中)。

■(参考)プラン2の総評

プラン2のメリットは1階の回遊できる動線です。脱衣～洗面～WIC～玄関へ抜けられる(裏動線がある)というメリットがあります。

このプランの大きなデメリットは、和室に窓がない(外部に面しない)ことです。窓がないため、風を通すことができないことや採光が取れないこと、通風が良くないこと、圧迫感を感じることは、かなりマイナスポイントです。(特に、和室の収納は湿気がたまりそうです。)

来客者が寝室として利用される場合には、窓がないことは圧迫感からストレスを感じる可能性があります。

(建築基準法では居室に窓がないことは不可となりますが、このプランではリビングと一体という計画で適法とはなるかと思います。)

回遊できる動線というメリットが、この窓のない和室で成り立っているため、あまり良くないプランという見解となります。

他に、2階のホールが奥にあり、ここで布団を干すのは日光が当たらず、あまり意味が無いように思えます。また、子供部屋の(分割後の)西側の部屋は北面にしか窓が無くなるため、寒い部屋となってしまいます。